

## 「社会科を学ぶ楽しさを実感させる授業の創造」

### 【研究の内容】

(1) 第1回 7月26日(金)

- ①言語活動の工夫の中で、特に「表現」の場面設定をどのようにしていくかを協議した。
- ②グループ活動をする際の留意事項について、共通理解した。
- ③「思考・判断・表現」の観点の評価規準について、定期考査問題を持ち寄り、協議した。

(2) 第2回 12月20日(土)

- ①東京都教師道場部員の研究授業を再現し、全員で研究協議を行った。
- ②視覚的教材や、グラフ・地図の読み取りの取り扱いについて、共通理解した。
- ③「資料活用」の観点の評価規準について、協議した。

(3) 第3回 3月22日(土)

- ①各自の研究授業の指導案を持ち寄り、協議を進めた。
- ②「探求」的、「協同」的学習への取り組みについて、先行事例に学び、協議した。

### 【成果と課題】

(1) 成果

- ①本研究会で、言語活動の充実を図る指導法の工夫について、活発な意見交換をすることにより、「思考・判断・表現」の大切さを理解し、各校で教科のねらいに迫る言語活動の実践へ結びついていった。
- ②先行事例を学ぶことにより、今後の社会科教育の方向性を知る機会となっている。

(2) 課題

- ①若手教員の指導力向上を図るため、より実践的な指導法工夫を図る必要がある。

### 【指導案の例】

本研究会で研究協議をし、グループの構成員の一人が東京都教師道場や校内研究で実践した指導案を以下に載せる。

---

## 社会科学学習指導案

対 象 第1学年6組 33名

授業者 八王子市立みなみ野中学校

教諭 山本 葉月

### 1 単元名

ヨーロッパ州—国家間の統合とその課題—

地理的分野(1)世界の様々な地域 ウ 世界の諸地域 ヨーロッパ州 主題「国家間の統合とその課題」

〈教科書：『中学社会 地理 地域に学ぶ』(教育出版) 地図帳：『中学校社会科地図』(帝国書院)〉

### 2 単元の目標

- (1) ヨーロッパ州の国家間の統合と、それによって生じた課題を生徒が実感し身近に感じることができる学習活動を通じて、世界の地理的事象に対する関心をもち、主体的に学ぶ態度を身に付けるとともに、わが国の国土認識を深める。
- (2) 「国家間の統合とその課題」を主題としてヨーロッパ州の地域的特色と課題を多面的・多角的

に考察する学習活動を通じて、同州の地域的特色を捉えるとともに、思考力・判断力・表現力の基礎を築く。

- (3) ヨーロッパ州に関する統計資料の分析や、雨温図・主題図・写真の読み取りや比較・関連付け等の学習活動を通じて、同州の地域的特色を捉えるとともに、資料活用の技能の基礎を身に付ける。
- (4) ヨーロッパ州の自然環境や産業、生活・文化、歴史的背景等の特色を「国家間の統合とその課題」という主題を基に大観する学習活動を通じて理解し、それぞれの基礎的・基本的な知識を身に付ける。

### 3 単元の評価規準

観点	ア 関心・意欲・態度	イ 思考・判断・表現	ウ 資料活用の技能	エ 知識・理解
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパ州の環境や人々の生活の様子、またヨーロッパ州の国々が政治的・経済的結びつきを強めてきた国家間の統合とその課題という主題に対する関心を高め、それらを主体的に追究し、捉えようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパ州に暮らす人々の生活の様子や環境を基に、「国家間の統合とその課題」を主題としてヨーロッパ州の地域的特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパ州の地域的特色について有用な情報を適切に選択し、それを基に読み取ったり文章等にまとめたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパ州について「国家間の統合とその課題」の主題を基に地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。</li> </ul>
学習活動に即した具体的な評価規準	<p>①積極的に発言をしたり、話し合い活動に積極的に参加したりする等授業に主体的に参加している。</p> <p>【観察】</p> <p>②ヨーロッパ州の地域的特色や主題に関心を持ち、教員や他の生徒の発言等をワークシートの余白等に記入している。</p> <p>【ワークシート】</p> <p>③白地図にヨーロ</p>	<p>①主題に基づき授業ごとに設定された授業目標に対し、授業内容に即してワークシートに他者に伝わる文章で書き表している。</p> <p>【ワークシート】</p> <p>②ヨーロッパ州の地域的特色を多面的・多角的に考察し、その結果について白地図を活用してまとめている。</p>	<p>①グラフ(主に雨温図や円グラフ、帯グラフ等)から、その地域の自然環境や人々の生活の特色を適切に読み取っている。</p> <p>【ワークシート】</p> <p>【定期考査】</p> <p>②主題図(主に分布図)から、その地域の自然環境や人々の生活の特色を適切に読み取っている。</p>	<p>①ヨーロッパ州の地域的特色について理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>【白地図】</p> <p>【定期考査】</p> <p>②ヨーロッパ州の国々の統合と、その利点や課題について理解し、知識を身に付けている。</p> <p>【白地図】</p> <p>【定期考査】</p>

	ッパ州の地域的特色を主体的にまとめている。 <b>【白地図】</b>	<b>【白地図】</b> ③ヨーロッパ州の地域的特色について、自らの言葉でまとめている。 <b>【ワークシート】</b> <b>【定期考査】</b>	<b>【ワークシート】</b> <b>【定期考査】</b>	
--	---------------------------------------	---	----------------------------------	--

※特に評価方法が記されていない項目に関しては、定期考査における達成率で評価を行う。  
 ※ワークシートの評価は、授業後に時間をとり実施する。

- 4 指導観（ここでは省略）
- 5 年間指導計画における位置付け（ここでは省略）
- 6 単元の指導計画と評価計画（6時間扱い）

	学習内容・学習活動	学習活動に即した具体的な評価規準 (評価方法)
第1時	「ヨーロッパ州の自然環境・国々」 ・提示資料や、自らの生活体験よりヨーロッパ州についての関心を高める。 ・ヨーロッパ州の気候や地形について、作業用白地図と地図帳とを併用してまとめる。 ・ヨーロッパ州の国々について、州内の国の数や面積に着目し、その特徴を捉える。	<b>関</b> ：ア - ①、② （観察、ワークシート） <b>技</b> ：ウ - ② （ワークシート）
第2時	「ヨーロッパ州の文化（都市と宗教）」 ・ヨーロッパ州の生活や文化にキリスト教が深く関わっていることを、年中行事や都市の形態から読みとり、宗派のちがいについても分布図から理解する。 ・例として都市の中心部への自動車の乗り入れの禁止という取り組みについて取り上げ、歴史的観点・環境への配慮の双方から考察し、ヨーロッパ州への関心を高めると共に、日本における取り組みとも比較する。	<b>関</b> ：ア - ①、② （観察、ワークシート） <b>思</b> ：イ - ① （ワークシート）
第3時 (本時)	「地域の統合とその課題①」 ・EUに加盟している国々の間で可能となること（移動の自由化や通貨の統合等）について理解する。 ・ヨーロッパ州の国々が統合した理由について、経済的側面と歴史的側面から資料を基に多面的に考察し、自らの文章でまとめる。	<b>関</b> ：ア - ①、② （観察、ワークシート） <b>思</b> ：イ - ①、③ （ワークシート）
第4時	「ヨーロッパ州の気候と農業」 ・ヨーロッパ州の農業生産物について食事から推測し、資料の読み取りを通じその実際について理解する。 ・ヨーロッパ州の農業について、気候条件によって様々な手法	<b>関</b> ：ア - ①、② （観察、ワークシート） <b>技</b> ：ウ - ①、②

	<p>が行われていることを主題図から読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>EUによる農産物の製品基準の統一や生産方法の規制によって、農家の経営が困難となることがあること、伝統的な農法が失われつつあることを理解する。</li> </ul>	(ワークシート)
第5時	<p>「ヨーロッパ州の工業とロシア連邦」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ヨーロッパ州の工業について、工業の中心地の変遷から燃料や工業生産品の変化について読み取る。</li> <li>労働の移動が自由というEUの特色から、国境を越えた労働者が多くいることを理解する。</li> <li>ロシア連邦に関する資料を読みとり、ヨーロッパ州との関連という観点を保ちながらその特色を理解する。</li> </ul>	<p><b>関</b>: ア - ①、② (観察、ワークシート)</p> <p><b>技</b>: ウ - ①、② (ワークシート)</p>
第6時	<p>「地域の統合とその課題②」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの学習で出てきたEUの加盟によって起こる問題点を、ワークシートに簡単にまとめる。</li> <li>ドイツ連邦の外国人労働者の増加と外国人排斥運動の資料から、EU加盟が国家にもたらした問題点について読みとり理解する。</li> <li>EU加盟による利点・問題点について整理し、自らの文章でワークシートにまとめる。</li> </ul>	<p><b>関</b>: ア - ②、③ (観察、ワークシート)</p> <p><b>思</b>: イ - ②、③ (白地図、ワークシート)</p> <p><b>知</b>: エ - ①、② (白地図)</p>

## 7 指導に当たって（ここでは省略）

## 8 本時

### (1) 本時の目標

- 国家間の統合を深め、国家の枠組みを超え様々なことが可能となっているヨーロッパ州について関心を深め、主に統合の理由に対し主体的に追究する。
- 移動や労働の自由化、通貨の統合等、ヨーロッパ州の国々が国家間の統合によって実現した様々な事象について理解する。
- ヨーロッパ州の国々が国家間の統合を目指した理由について資料を読み取り考察し、自らの文章としてまとめる。

### (2) 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点・配慮事項	学習活動に即した具体的な評価規準 (評価方法)
導入 15分	<p><b>1</b> 前時までの学習内容を振り返り、本時の目標を確認する。</p> <p><b>2</b> ヨーロッパ州の国々の統合の過程</p>	<p><b>1</b> ヨーロッパ州の国々が面積でみると小さいこと、国境を越えて交通網が存在していること、さらに大まかにみればキリスト教という共通した文化をもっていることを主に確認する。そして「ヨーロッパ州の国々はなぜ統合を目指したのか？」という問いかけをする。ただしこれは本時の目標の確認であり、回答は求めない。</p> <p><b>2</b> パワーポイントを用いて説明する。ベネルク</p>	<p><b>関</b>: 積極的に発言する等、授業に主体的に参加している。 (ア - ①: 観察)</p>

	<p>について簡単に学ぶ。</p> <p>③もしもEUが存在しなかったらヨーロッパ州の国々がどのような状況になっているかを想像する。</p> <p>④景観写真を見て、ヨーロッパ州のどの国・どの都市かを探り、位置を理解する。</p> <p>⑤イタリアからオーストリアへ入る際にパスポートが不要であったこと、そしてそれがEUへの加盟によって起こっていることを確認する。</p>	<p>ス関税同盟から始まり、現在では28の加盟国を有するEUへと至っている経緯を生徒が視覚的に理解できるよう留意する。その際、詳細な国家名や共同体名にはこだわらない。</p> <p>③3分程度時間を与え、個人で考える。周囲と共有する時間をとった後、クラス全体で共有する。発言内容については要点を板書していく。この思考を、生徒がヨーロッパ州諸国の統合という学習課題を主体的に捉える一助としたい。</p> <p>④イタリア（ローマ）→オーストリア（ウィーン）への旅行の写真を提示し、国境を越える際に夜行列車を用いていることに触れる。日本でも有名な料理やランドマーク的な建造物を出すようにし、より多くの生徒に関心をもたせるようにする。また、掛け地図を併用することにより話に登場した国の位置を確認することを意識させる。</p> <p>⑤空港における一般的な出入国審査の写真を提示し、なぜパスポートチェックがないのか関心を高める。これまでの授業でEUという言葉が出ていることから、生徒のほうからEU加盟によるもの、と答える可能性もあるが、授業でしっかりと教えたことはないため、分からない生徒も多くいると予測される。それについては本時で初めて本格的に触れることを説明し、意欲をそがないよう留意する。この学習活動から、展開へつなげる。</p>	
<p>展開 30分</p>	<p>⑥EUにより実現した国境を越えた結びつきについて学習する。</p> <p>⑦ヨーロッパ諸国・EUに関する資料から分かることをそれぞれ個人で文章にし、発表する。</p>	<p>⑥人やもの、資本の移動が自由であることを簡単に説明し、ワークシートにまとめさせる。また、共通通貨EUROが導入されていることについて説明し、その目的が経済の統合であることに気付かせる一助となるよう留意する。</p> <p>⑦・GDPについてアメリカ合衆国や日本・中国と、EU加盟国を比較したグラフをパワーポイントで提示する。その際、ドイツやフランスといった個々の国のGDPを順番に示し、最後にそれらの国をあわせたグラフを示すことにより生徒の関心を引き起こしたい。なお、GDPに関しては学習していないため、簡単な理解ができるような説明をする。</p> <p>・個々では経済規模の小さいドイツやフラン</p>	<p>関：他の生徒の発言をワークシートに記入している。 (ア-②：ワークシート)</p>

	<p>7 資料から読み取った事象から、ヨーロッパ州の国々が統合を目指した理由について考え、発表する。</p>	<p>ス、イギリスといった国々が、EUという形で1つになることによって、アメリカ合衆国や日本を上回ることに気付かせたい。</p> <p>7・ヨーロッパ州の国々が統合を目指した理由を、前の学習活動を活用し、ワークシートに記入するよう指導する。その後、クラス全体で共有する。</p>	<p>思：主題に対する回答を自らの言葉でまとめ、表現している。 (イ-①・③：ワークシート)</p>
まとめ 5分	<p>8 本時の学習について振り返る。</p>	<p>8 本時の授業を振り返り、ヨーロッパ州が統合を目指した理由について資料に基づき考えたことを確認する。</p>	

(3) 授業観察の視点・(4) 板書計画 (ここでは省略)